フランクリン・Ｊ・シャフナー

Franklin J. Schaffner

生年月日 1920/05/30
出身地 日本／東京
没年 1989/07/02

【バイオグラフィ】

■本名はFranklin James Schaffner。父が宣教師で布教活動のため日本に滞在していた時に生まれる。その父が６歳の時に死亡。母と共にアメリカに戻る。大学を卒業後海軍に入隊。戦後、ＣＢＳに入社してディレクターとなり、二度のエミー賞を受賞。６１年より「弁護士プレストン」などＴＶシリーズの演出を担当。６３年の「七月の女」で劇場映画監督デビューした。６７年の「猿の惑星」で世界にセンセーションを起こし、７０年の大作「パットン大戦車軍団」で監督賞などアカデミー賞７部門を受賞した。以後。「パピヨン」、「ブラジルから来た少年」などの異色作・大作を手掛けた。８９年死亡。

【フィルモグラフィ】

スフィンクス（1980）	監督,製作総指揮
ブラジルから来た少年（1978）	監督
海流のなかの島々（1977）	監督
パピヨン（1973）	監督,製作
ニコライとアレクサンドラ（1971）	監督
パットン大戦車軍団（1970）	監督
猿の惑星（1968）	監督
ダブルマン（1967）	監督
大将軍（1965）	監督
最後の勝利者（1964）	監督
七月の女（1963）	監督

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。 Copyright (C) 2026 Stingray. All Rights Reserved.